

## 中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	ANA グループの多様性と協力による価値創造の仕組みについて学ぶ。
調査日	11/6(水)
調査先	ANA Blue Base (東京都大田区羽田旭町 10-8)
担当 CVS	片岡義臣、小林城司、松橋由里
参加学生数(学年)	1 年生 12 人、2 年生 8 人
調査趣旨・目的	ANA グループの多様な事業構造と企業間連携の仕組みを理解する。
調査結果	<p>今回の企業訪問では ANA Blue Base に訪問させていただき ANA グループについてのお話を伺い、実際に ANA グループの企業に勤務されている方々とのパネルトークや ANA Blue Base の施設内を見学させていただきました。</p> <p>まず、ANA グループの会社概要についてお話を伺った。ANA はホールディングス体制をとっており、全 49 社の企業がさまざまな事業を担い、協力し合っている。ANA グループの経営理念である「安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します」に基づき、グループ企業それぞれが価値創造のための経営を行っている。また、グループ経営理念は「ワクワクで満たされる世界をわたしたちは、空からはじまる多様なつながりを作り、社員・お客様・社会の可能性を広げていきます。」であり、ここで特徴的であるのは社員が一番初めに係れている点であり、これは ANA グループの社員の成長や可能性を広げることを一番に考えていることの表れであるといえる。</p> <p>つぎに、ANA グループ企業の中から ANA・ANAAS・ANA X の3社の方々からそれぞれの企業について説明していただいた。ANA(全日本空輸株式会社)は私たちがよく想像する航空運送事業を行っている会社で客室乗務員やパイロットなどが活躍している企業であり、現在国内線143路線、国際線49路線を運航している。次に、ANAAS(ANA エアポートサービス株式会社)を紹介していただいた。ANAAS はグループ最大規模の会社であり、ANA グループの経営の基盤となっていて、空港地上支援業務を行う会社である。グラウンドスタッフなどの旅客サービス業務・飛行機の誘導など安全な運航を支援するランプサービス業務・どの飛行機をどこに止めるかなどを支持する運航支援業務など多岐にわたる業務で安全で快適な飛行機の運航を支援している。最後に ANA X 株式会社は2016年に設立された新たな会社であり、「マイルで生活できる世界」をコンセプトに航空機の利用以外の目的で日常的にマイルを体験できる世界を目指す、ANA グループのプラットフォーム事業を担っている会社である。ANAMall・ANA pay などの R&amp;D 推進事業やマイルージプログラムなどの事業を行っている。</p> <p>今回の企業訪問を通して、ANA グループのお客様だけではなく社員を大切に、社員が成長し続けられるような環境が整っていることや、航空運送事業以外にもたくさんの事業を行っていることなどを知ることができ、ANA グループについて理解を深めることができた。また、パネルトークで実際に働いている方のお話を聞いて自分の将来について考える際のヒントを得ることができた。</p> <p>今回の訪問で得た ANA グループの多岐にわたる事業展開や社員の成長を重視する環境についての理解を、今後のキャリア選択や自己成長の指針として役立てていきたい。また、航空業界に限らず、多角的な事業展開や人材育成に注力する企業の在り方をさらに学んでいきたい。</p>

※調査時の写真

